

2019年4月21日(日)朝10:10～ 復活節第1、自由交歓会等
4月第3復活日共同主日礼拝式説教 日本アライアンス庄原基督教会

説教題：あの方はよみがえられました

聖書:マルコ 16章1～8節

＜口語訳＞

新約聖書81頁

マタイ 5章1～11節

＜新共同訳＞

新約聖書97頁

マタイ 5章1～11節

＜新改訳第3版＞

新約聖書102～103頁

マタイ 5章1～11節＜塚本訳＞

新約聖書 ～ 頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マルコ書**は、使徒ペテロの影響を受けたマルコが記したとされ、**主のしもべである救い主(メシヤ)、神の御子イエス・キリスト**を簡潔に証言した記録です。

◇本日は、**マルコ16章1～8節**から**神の御子イエス・キリスト様死と復活の告知**を理解したいと願っています。

◇**マルコ福音書16:1～8**は、①「安息日が終わったので、マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメとが、行ってイエスに塗るために、香料を買い求めた。そして週の初めの日に、早朝、日の出のころ墓に行った」という書き出しで記され(1～4)、

⇒②墓の中の青年(天使 か)から彼女達にメッセージ(主イエスの復活と彼女達がどうすべきか)が与えられ(5～7)、

⇒③彼女達が墓を去る(8)、が語られている、**OK師**はまとめておられます。

◇**主の復活日**は、「**主の墓・葬り**」と向き合い、「**葬りの場所**」を去る者に、「**イエスはよみがえって、ここにはおられない**」と語る日です。

本論；

◇本日、マルコ書16章1～8節から主の使信に
思い・心をとめます。

◆マルコ16章1～8節；マルコは、墓で死人に
葬りの油を塗るため尋ねた女性たちに、
「イエスはよみがえって、ここにはおられ
ない」とを主の復活を告げたみ使いの声を
語っています。

◇1～8節；塚本訳◆復活の朝

- 1 (翌日、日が暮れて)安息日が終ると、
マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤと
サロメとは、イエス(の体)に油を塗りに行く
ために、(油にまぜる)香料を買いととのえた。
- 2 そして(あくる朝、すなわち)週の初めの日
[日曜日]の朝、ごく早く、日が出ると墓場
に行く。
- 3 「だれか墓の入口から石をころがしてくれる
者があるだろうか」と互に話しながら、
- 4 (ふと)目をあげて見ると、石はもうころがして
あった。(彼らが心配したのは)石が非常に
大きかったからである。
- 5 墓に入ると、白い衣をきた一人の青年が

右手の方に坐っているのを見たので、ぎょつとした。

- 6 青年は彼らに言う、「驚くに及ばない。あなた達は十字架につけられたナザレ人イエスをさがしているが、もう復活されて、ここにはおられない。そら、ここがお納めした場所だ。
 - 7 さあ行って、弟子たち、とりわけペテロに、『イエスはあなた達より先にガリラヤに行かれる。(前に)あなた達に言われたとおり、そこでお目にかかれる』と言いなさい。」
 - 8 女たちは墓から逃げ出した。びっくりして震えあがったのである。そしてだれにも何も言わなかった、恐ろしかったので。……」と、マルコは語っています。
- ◇ 1～4節 ; 「(翌日、日が暮れて)安息日が終ると、マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメとは、イエス(の体)に油を塗りに行くために、(油にまぜる)香料を買いととのえた」、「そして(あくる朝、すなわち)週の初めの日〔日曜日〕の朝、ごく早く、日が

出ると墓場に行く」、「だれか墓の入口から石をころがしてくれる者があるだろうか」と互に話しながら、(ふと)目をあげて見ると、石はもうころがしてあった。(彼らが心配したのは)石が非常に大きかったからである。」と、「マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメ」は、「墓の石」が、「大きかった」ことを「心配した」のです。

⇒「墓」と「墓をふさぐ大きな石」が「心配」でした。

⇒「墓・自らの葬りの場所」へ向かって生きる者で、「墓の石」のように困難が待ち受けているのです。

⇒しかも「墓」は空虚でしたが、「マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメ」は、腐敗する主のご遺体に「香料」を混ぜた「油を塗りに行く」のです、OK師は、ここに彼女たちの愛があり、御子イエス・キリスト様に仕えて行く姿を見ておられます。

⇒「墓」そのものは、空虚ですが、「香料」を混ぜた「油を塗りに行く女性たちの心」は、愛に充ち溢れています。

◇5～7節；「墓に入ると、白い衣をきた一人の青年が右手の方に坐っているのを見たので、ぎょっとした」、「青年は彼らに言う、「驚くに及ばない。あなた達は十字架につけられたナザレ人イエスをさがしているが、もう復活されて、ここにはおられない。そら、ここがお納めした場所だ」、「さあ行って、弟子たち、とりわけペテロに、『イエスはあなた達より先にガリラヤに行かれる。(前に)あなた達に言われたとおり、そこでお目にかかれる』と言いなさい」、「墓の中の青年(天使か)から彼女達にメッセージ(主イエスの復活と彼女達がどうすべきか)が与えられた」と、「OK師」は語っておられ、「マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメ」たちの御子イエス・キリスト様への愛が、「青年(天使)」の「青年は彼らに言う、「驚くに及ばない。あなた達は十字架につけられたナザレ人イエスをさがしているが、もう復活されて、ここにはおられない。そら、ここがお納めした場所だ」との復活メッセージを聞かせたのです。

⇒**OK師**は、「十字架の死と埋葬の目撃者」だから甦りのメッセージが相応しかったと。

◇**8節**；「**女たちは墓から逃げ出した**」、「**びっくりして震えあがったのである**」、そして「**そしてだれにも何も言わなかった、恐ろしかったので**」と、「**マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメ**」は、「**恐ろしかった**」で、マルコ福音書は終わっています。9節以降は括弧に入っていて多くの人がマルコ福音書の一部と認めていません。

⇒「**イエスはよみがえって、ここにはおられない**」(6)の「**青年(天使)**」のことばは、「**御子イエス・キリスト様の復活**」が、「**既に起きてしまった**」、「**それもイースターの朝早くにです**」と、「**OK師**」は強調しておられます。

⇒「**空虚な墓**」は、空虚なままですが、「**御子イエス・キリスト様が復活された**」という出来事の証拠(しるし)です。

⇒「**さあ行って、弟子たち、とりわけペテロに、『イエスはあなた達より先にガリラヤに行かれる。(前に)あなた達に言われたとおり、そこでお目にかかれる』と言いなさい**」です。

結論；

- ◇ **マルコ書**は、使徒ペテロの影響を受けたマルコが記したとされ、**主のしもべである救い主(メシヤ)、神の御子イエス・キリスト**を簡潔に証言した記録です。
- ◇ 本日は、**マルコ16章1～8節**から**神の御子イエス・キリスト様死と復活の告知**を理解したいと願っています。
- ◇ **マルコ福音書16:1～8**は、①「安息日が終わったので、マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメとが、行ってイエスに塗るために、香料を買い求めた。そして週の初めの日に、早朝、日の出のころ墓に行った」という書き出しで記され(1～4)、
⇒②墓の中の青年(天使 か)から彼女達にメッセージ(主イエスの復活と彼女達がどうすべきか)が与えられ(5～7)、
⇒③彼女達が墓を去る(8)、が語られている、**OK師**はまとめておられます。
- ◇ **主の復活日**は、「**主の墓・葬り**」と向き合い、「**葬りの場所**」を去る者に、「**イエスはよみがえって、ここにはおられない**」と語る日です。

⇒「女たちは墓から逃げ出した」、「恐ろしかった」が、「マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメ」の問題ではなく、私たちの問題で、まだ、「墓・葬り」が人生の終着点と、理解して、「御子イエス・キリスト様」が復活して「墓」にはおられない、「青年は彼らに言う、「驚くに及ばない。あなた達は十字架につけられたナザレ人イエスをさがしているが、もう復活されて、ここにはおられない。そら、ここがお納めした場所だ」の「青年(天使)」のメッセージを聖書のことばで読んでも、内心、死を恐れています。

⇒「さあ行って、弟子たち、とりわけペテロに、『イエスはあなた達より先にガリラヤに行かれる。(前に)あなた達に言われたとおり、そこでお目にかかれる』と言いなさい」と、既に「御子イエス・キリスト様の復活」は起こったことだ、今は「墓」にはおられない、「イエスはよみがえって、ここにはおられない」と告白し、聖霊によって、今は、「心に内住」してともに生きて下さっていることを使徒信条を告白するように告白しましょう。